

地域連携推進会議 2025 年度第 1 回目 議事録

令和 7 年 7 月 9 日 (水) 10:30～11:30

場所：共同生活援助そらまめの居え 食堂

参加者：管理者児玉・サビ管釣竿・支援員佐々木

入居者 2 名・保護者 1 名（2 名）・地域の方 1 名

【議事次第】

1. 施設等・地域の連携（10 分）

- (1) そらまめの居えについてパンフレットを用いて管理者児玉が説明する。
- (2) 「地域行事として夏の風物詩、御油の夏祭りの打ち上げ花火の寄付をしています。」「地域の皆さまと一緒に花火を見えています。」「もっとずっと松並木…そして未来へ。御油の松並木、国の天然記念物 80 周年」のイベントに参加していると管理者児玉が話す。

2. 施設等やサービスの透明性・質の確保（20 分）

- (1) 参加者の自己紹介。
- (2) 日常生活の様子について、資料を参考に質問等を入居者様が答える。
- (3) 現在 10 名の職員で支援を行っていることを説明する。
- (4) BCP（業務継続計画）の策定状況について、災害時、障害を持った利用者様が住んでいることを知ってもらうことが大切になることを説明する。
- (5) 食事の提供について、ブログ『そらまめの居えごはん』で紹介していることを説明する。
- (6) 入浴時は、毎回お湯を入れ替えていることを説明する。
- (7) 居室や浴室など事業所内の紹介をする。
- (8) その他

3. 入居者の権利擁護（30 分）

- (1) 日々の様子の報告として、ケース記録を提示しながら管理者児玉が説明をする。
- (2) 入居者様の意向アンケートを見てもらい、コミュニケーションを図る。
- (3) 地域の方の意見として、「あの建物は何？」みたいに地域に浸透していないので障害を持った方のグループホームということをもっとアピールしてもいいのでは。区長に挨拶に行ってみたらどうかなど意見が出る。
- (4) 保護者様の意見として事前に聞いていた欠席者 2 名の保護者様の「現状、特にない」と報告、出席された保護者様より「今のところはないです」と答える。
- (5) その他

【会議のまとめ】

管理者児玉から最後に「障害があっても他の人と同じように地域で普通に暮らしたいという思いをしっかりと支えながら『そらまめの居え』では当たり前前の生活が日々営まれその地域で皆さんとともに暮らせるよう支援いたします。利用者様が自分のリズムで規則正しい生活が送れるよう支援します。日々の活動を通して、社会経験の機会を作るとともに地域参加を目指します。

資料

（事業所向け）地域連携推進会議の概要/地域連携推進員の手引き/地域連携推進会議の手引き

以上